

ISO 規格発行の概要

No.	規格番号	規格名称【英文】	規格名称【和文】
1	ISO 15242-3	Rolling bearings—Measuring methods for vibration—Part 3: Radial spherical and tapered roller bearings with cylindrical bore and outside surface	転がり軸受—振動の測定方法—第3部： 円筒形状の内外径を持つラジアル自動調心ころ軸受及び円すいころ軸受
2	ISO 15242-4	—Part 4: Radial cylindrical roller bearings with cylindrical bore and outside surface	—第4部： 円筒形状の内外径を持つラジアル円筒ころ軸受

2017年8月付にて、ISO 15242-3 及び-4 の第2版が発行されましたので、その概要を紹介いたします。

1. 経緯

本規格（両規格）の初版は2006年1月に発行されています。今回の改正は、2015年12月のISO 15242-1（転がり軸受—振動の測定方法—第1部：基本）及び-2（第2部：円筒形状の内外径を持つラジアル玉軸受）の改正に準じて行われたもので、2015年5月に行われたTC 4 ロンドン会議にて改正を行うことが決議され、今回第2版の発行に至っています。

2. 主な改正内容

(1) ISO 15242-3

- 全体を最新の様式に従い変更しました。
- 用語や語句の変更
 - ① 回転速度は Speed of rotation 又は rotational speed としていましたが、rotational frequency に統一しました。
 - ② 測定する行為の意味の“test”は、“measure”に変更しました。
 - ③ “peak”及び“spike”は、“pulse”に変更しました。
 - ④ “r/min”を“min⁻¹”に変更しました。
 - ⑤ “pick up”は、“transducer”に変更しました。
- 箇条 5.2 のタイトルは、前版の“Frequency range”から“Frequency domain”に変更し、デフォルトの回転速度（1800min⁻¹）の場合を表 2 に、それ以外に使用される回転数の例を表 3 に記述しました。
- 箇条 6.1 は3項目あったが、分類が不適切であったため、シール、シールドタイプ軸受などの“prelubricated bearings”とその他の“non-prelubricated bearings”との2項目に分けて記述しました。
- 図 2 及び図 3 の荷重負荷の矢印をわかりやすい表示に変更しました。
- 箇条 6.4 にあった“Requirement for operator”は削除しました。
- 附属書 A に Key（凡例）を追加しました。

(2) ISO 15242-4

- ・全体を最新の様式に従い変更しました。
- ・用語や語句の変更
上記 ISO 15242-3 の①～⑤と同じ変更を行いました。
- ・箇条 5.2 のタイトルは、前版の“Frequency range”から“Frequency domain”に変更し、デフォルトの回転速度（1800min⁻¹）の場合を表 2 に、それ以外に使用される回転数の例を表 3 に記述しました。
- ・箇条 6.1 は 3 項目あったが、分類が不適切であったため、シール、シールドタイプ軸受などの“prelubricated bearings”とその他の“non-prelubricated bearings”との 2 項目に分けて記述しました。
- ・図 1 及び図 3～図 5 の荷重負荷の矢印をわかりやすい表示に変更しました。
- ・箇条 6.4 にあった“Requirement for operator”は削除しました。
- ・附属書 A 及び附属書 B に Key（凡例）を追加しました。

以上